

👉 手話サークル研究班 👈

～ 「手話」は聴覚障害者にとって大切な言葉です ～

～ 「手話サークル研究班」の思い ～

メディアや地域で開催されている手話講習会の影響で手話に興味を持つ人たちが増え、「手話」に対する理解は確実に広がってきました。

でも、「手話」への理解が広がることと、「聴覚障害者」への理解が広がることは、イコールではありません。

手話に関わる時間、年齢等々、さまざまな条件の人たちが集うサークルでは、当然手話技術レベルはまちまちだと思いますが、そこにこだわる前に「手話」を健聴者の自己満足な趣味に終わらせることなく、学んだ手話を通して「聴覚障害者と共に歩む」という気持ちを持っていただければと思います。

「手話サークル」の役割は、学んだ手話を通し、ろう者と交流しながら「手話」と共に「聴覚障害」に対する理解を深め、聴覚障害者と地域をつないでいくことだと考えます。

～ 「手話サークル研究班」のプロフィール ～

☆2004年4月、9名のメンバーで発足。

☆神通研集会・第1分科会「手話サークル」を担当。

☆その他、神通研・関東通研・全通研の行事、集会に参加。

☆2006年9月現在、川崎3、横浜2、県域11 計16名で活動中！

～ 定例会 ～

地域サークルの様子や情報交換等を行っています。

☆8月は集会が行われたため、定例会はお休みでした。

手話に関わる県内のたくさんの会員が集った集会。分科会開催時間だけではなく、昼食時・休憩時・・・“初めまして”の方たちが、気が付けばずっと前から顔見知りだったかのように和やかな空気が流れ、笑顔と止まらない会話。

グループ毎の意見交換時も記録・発表担当をずっと担って下さる方々。

終了時は、記録用紙の回収、借りたもののチェックしとバタバタとして振り向けば、机も椅子もきれいに片付けられて・・・

このパワーと団結力、連帯感には、感動です！
またお会いできることを心から楽しみにしています。ありがとうございました。

【次回定例会】

9月18（月・祝）13:00～15:00

かながわ県民センター12F・ボランティアコーナー
神通研会員のみなさま、お気軽にご参加下さい。

～ '06年神通研集会 第1分科会報告～

・手話技術のレベルに拘る前に・・・と言うことは今まで「サークル研究班」でも伝え続けてきました。ろう者に伝えたいという気持ちがあれば、未熟な手話でも読みとってくれるやさしい心に出会えます。

・地域に伝えていく「手話」「聴障者」への理解とは？
健聴者社会が理解出来ていないことを出し合ってみました。<手話は全国共通だと思っていた><日本語を手話単語に置き換えるだけで通じると思っていた><ろう学校には、手話の授業があると思っていたし、手話のみでコミュニケーションは行なわれていると思っていた>等々・・・手話へ関わって初めて知ることがたくさんありますね。地域との接点であるサークル会員が、少しずつでも社会に伝えていけたらと思います。

～サークル研究班メンバーのささやき～

夏の高校野球。早実の斎藤投手フィーバーですね。なぜ?やっぱり自分自身に挑戦している姿って魅力的です。

神通研集会でも自分自身に挑戦しているステキな人たちにたくさん出会えました。みなさんからの良質なパワーを頂いて、エネルギー充電完了です。

エネルギーが切れかかったら、またよろしくお願ひしますね～～！！

<南風>